# NUBIC知的財産情報開示

開示日：2005年10月7日

各位

**NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします**
**尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| NUBIC管理番号: | 2005000002 | 整理番号 | 10817 | 担　当　者: | 片山　充子 |

| | |
|---|---|
| 表　　題 | 血管内皮温存化組成物（ヒト血小板由来成長因子-A鎖に対するアンチセンスオリゴヌクレ |
| 技術分野 | 食品・バイオ　化学・薬品 |
| 適応製品 | 冠動脈ステント留置後の再狭窄を予防する薬剤，ステント |
| 目　　的 | 本発明は，冠動脈疾患に対するステント留置後の新生内膜形成による冠動脈再狭窄を予防するための薬物溶出性ステントに塗布する新規核酸医薬で，ステント内内皮細胞化を温存する。 |
| 技術概要 | 冠動脈へステントを留置後，ステント内に血管平滑筋の増殖により再び狭窄する大きな問題がある。これに対しシロリムスと言う免疫抑制剤により細胞周期を止めることによる薬物溶出性ステントが有効であるが，血管内皮細胞の増殖も抑制するため，ステント留置後の血栓が問題であった。<br>血小板由来成長因子(PDGF)はA鎖，B鎖に分けられるが，ステント内血管平滑筋の増殖にはPDGF-A鎖が関与していることが知られている。今回PDGF-A鎖に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドを開発した。PDGF-A鎖に対するアンチセンスオリゴヌクレオチドは豚冠動脈のステント再狭窄に対し約70%の冠動脈狭窄抑制と内皮細胞の温存化を認め，シロリムスの薬物溶出性ステントの血栓性の欠点を克服した第3世代の薬物溶出性ステントと考えている。 |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。
（FAX、e-mail、郵送いずれでも可。）
各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 面談希望日時 | | | |
| （ふりがな）<br>氏　　名 | | | |
| 会社名 | | | |
| 所　属 | | 役　職 | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |
| E-mail | | | |
| 連絡事項 | | | |

【申込み・問い合わせ先】
日本大学産官学連携知財センター（ **NUBIC** ）
〒102-8275　東京都千代田区九段南4－8－24　日本大学会館
TEL：03-5275-8139　FAX：03-5275-8328　E-mail：nubic@adm.nihon-u.ac.jp